

令和6年11月29日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 難聴者・中途失聴者サークル ことのは
代表者職・氏名 久保 睦子
所在地

事業名	聞こえにくくても安心なまちづくり
実施期間	令和6年6月18日～令和6年11月30日

1 事業の具体的内容及びSDGsの成果

《事業の具体的内容》

I 補聴器専門家による補聴器説明会

【目的】 補聴器の正しい知識、有効性についての普及

【日時】 7月15日（月・祝）10:00～11:30

【場所】 上戸田地域交流センター

【講師】 認定補聴器専門店 蔵ボイス補聴器センター
認定補聴器技能士 6-1530 坪田 修氏

【内容】 補聴器の基本的知識、有効性等の説明と相談

【会費】 無料

【参加者数】 12人（会員8人・非会員4人）

【情報保障】 要約筆記・手話通訳

【周知方法】 戸田市SNS、TOMATOホームページに掲載
補聴器説明会のチラシを市内公共施設に配架

Ⅱ 難聴者理解のための講演会

【目的】 難聴者・中途失聴者への理解、コミュニケーション方法の啓発

【日時】 11月17日（日）14:00～16:00

【場所】 上戸田地域交流センター
3階 ホール1～3

【内容】 秋の特別講演会

テーマ 「あきらめないコミュニケーション」

講師 石川千鶴氏

【会費】 無料

【参加者数】 40人（会員10人・非会員30人）

【情報保障】 要約筆記・手話通訳

【周知方法】 戸田市SNS、TOMATOホームページに掲載

秋の特別講演会のチラシを市内公共施設に配架

シルバー人材センターに置きチラシ

戸田市の補聴器店2店舗に置きチラシ、

下前町会地区、回覧板によるチラシ回覧

《SDGsの成果》

SDGs 3 すべての人に健康と福祉を

SDGs 10 人や国の不平等をなくそう

聴覚障害者にとって、情報の格差は「生活の質」の格差につながっていく。補聴器説明会では衰えた聴力を補完し、音声によるコミュニケーションの質を上げる方法としての補聴器の正しい知識を難聴者に伝えることができた。石川千鶴氏の講演によって、難聴者には「聞き取りにくさを補足するコミュニケーションの方法と聞こえに関する情報」を提供することができた。実施したアンケートにおいて、参加者から「勉強になった」等の意見を多数得ていることから、情報を得られないことによる不平等をなくし、健康で安心な生活への実現への第一歩を進めることができたと感じている。

SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

石川氏の講演会では、戸田市の健聴者の方にも多く参加していただけた。

この講演を通じて、難聴者に対する理解と支援の協力をもとめることができたことから、誰もが支え支えられるパートナーシップで目標を達成することにも近づいてきたと感じている。

2 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
6 月～	補聴器専門家に説明会依頼・会場確保 補聴器説明会→SNS及びチラシによる周知と申し込み
7 月 15 日（月・祝）	補聴器説明会 実施
8 月～	講演会講師依頼・会場確保
10 月～	講演会→SNS及びチラシによる周知と申し込み
11 月 17 日（日）	講演会 実施
12 月	アンケート集計・事業報告まとめ

3 事業の実施体制

・運営スタッフ 4 名（企画・立案・講師選定・講演会及び補聴器説明会主催）

I 補聴器説明会

協力スタッフ 7 名（会場準備・受付・片付け）

情報保障関係者 5 名（手話通訳者 2 名・要約筆記者 3 名）

II 秋の特別演会

協力スタッフ 10 名（会場準備・受付・参加者対応・片付け）

情報関係者 5 名（手話通訳者 1 名・要約筆記者 4 名）

※運営、および協力スタッフは全てことのは会員

4 反省点と課題

- ・補聴器説明会で、参加者 15 名以上を目標とし、ほぼ近い参加者数となった。しかし、戸田市内の潜在的な難聴者の参加が少なく、聞こえに困っている人に来てもらえるような呼びかけ方法を工夫するべきであった。
- ・補聴器説明会事後のアンケートで、参加者の三分の二が「非常によかった」、「よかった」という結果となった。
- ・講演会で、参加者 40 名以上を目標とし、達成することができた。
- ・講演会事後アンケート（回収率約 78%）で、満足度は約 95%であり、参加者にとって有効な講演会を開くことができた。
- ・2つの事業をとおして、近隣の難聴者団体や、手話学習者と連携ができた。また、事業の宣伝活動をとおして、地域の方々にことのはの存在を知ってもらい、難聴者に対する理解を一步進められたと感じている。
- ・聞こえに困難を感じている人は多いはずだが、どこにいて、どう困っているかがなかなか見えてこないため、情報提供をすることが難しい。こちらから聞こえに関する情報をどう発信していくのが今後の課題である。

《収支報告書》

【収入】

(円)

科 目		予 算 額 ①	収 入 額 ②	比 較 (②-①)	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000	46,556	-3,444	
	その他				
自己資金		1,230	0	-1,230	
会費（参加費等）					
利用者負担金（売上等）					
協賛金・寄附					
その他					
合 計		51,230	46,556	4,674	

【支出】

(円)

	科 目	予 算 額 ①	支 出 額 ②	不用額 (①-②)	内 訳
補助 対象 経費	謝礼金	30,000	20,000	10,000	Ⅱ講師謝礼金 20,000
	交通費	3,000	1,854	1,146	Ⅱ講師交通費 1,854
	印刷製本費	2,060	6,884	-4,824	チラシ等印刷代 Ⅰ844 Ⅱ6,040
	使用料	12,270	12,870	-600	会場使用料 Ⅰ3,110 Ⅱ7,160 設備使用料 Ⅰ1,000 Ⅱ1,600
	食糧費	2,500	3,086	-586	Ⅰ1,900 Ⅱ1,186
	消耗品	1,400	1,862	-462	Ⅰ1,752 Ⅱ110
	小 計	51,230	※ 46,556	4,674	※支出額内訳 補助金充当額：46,556 自主財源：0
補助 対象 外 経費					
	小 計	0	0	0	
合 計		51,230	46,556	4,674	